2024 就職状況 2025 就職活動

2025年卒の就職活動は、若年人口の減少を見据え、企業の採用活動が激化する中に行われた。今年度の就職活動を概観するとともに、次年度の見通し、卒業生から後輩へのメッセージを掲載する。

2024年度 就職活動の総括・本学の状況

大卒者の有効求人倍率は、1.75倍（昨年度1.71倍）で４年連続上昇した。初任給の引き上げや働き方の改善をアピールする企業も増え、「売り手市場」が続いている状況だが、一方で早期化する採用活動に十分な準備が整わないまま向かわざるを得ない学生も少なくなかった。３年次生のうちに、最初の内定をもらう学生は年々増加しているが、最終的に就職する企業からの内定は４年次生の５～６月がピークとなっている。学生優位の採用状況とはいえ、長期間にわたる就職活動で、学業や大学生活との両立に苦心した学生も多くあったと思われる。３月１日現在、進路決定届を提出した学生の進路満足度は、91.9％（就職者のうち「進路に満足」「やや満足」と回答した学生の割合）。３年連続90％を超え、高い数値となった。

■公務員

本学の国家公務員試験合格者は、総合職13人（昨年度13人）、一般職32人（昨年度22人）。全国的な傾向として国家公務員試験の申込者は減少が続いており、合格率は上がっている。一方、昨年度から受験可能年齢が引き下げとなった総合職教養区分に関しては申込者は増加の傾向にある。

25年度の試験日程は24年度から変更があり、東京都と特別区のテストセンター方式試験が３月に実施される。その他の地方公務員も全体的に早期日程を予定。国家総合職は３月中旬、国家一般職及び外務省専門職は５月末頃に選考開始。全般的に、公務員１次試験が民間企業の採用活動本格期に重なる。併願を考えている学生は、双方のスケジュールを見据えた対策と準備が必要となる。

昨年度に引き続き学内で開講した公務員試験対策講座は、対面型講義に一部WEBを取り入れたハイブリッド形式で実施。45人（昨年度52人）が受講した。25年度も対面型講義を中心とし、５月下旬から開講予定。

■教員

教員志望者は全国的に減少しており、本学も同様の傾向。本学の今年度の教員就職者は、公立・私立合計で約20人（昨年度約30人）。試験時期を早めた学校や自治体が増えつつある。教育実習や企業への就職活動時期と重なるため、計画的に準備を進めることが必要。私立の非常勤講師の採用は10月頃から本格化し年度末まで続いた。

■理工（技術系）学生

企業の技術系学生への関心は専攻を問わず高く、特に電気・情報系に対して高い傾向がみられた。学校推薦選考ではジョブマッチング選考を行う企業が多く、志望職種への適性やキャリアプランが問われた。一方、技術系人材へのニーズ高まりを背景に、コンサルティング業界など、自由応募でよりよい勤務条件やスキル獲得を求めて活動する学生も増えている。

■外国人留学生

外国人留学生は学業や日常生活への適応に時間がかかることが多い。日本の採用スケジュールに間に合わず、卒業後に就職活動を継続する学生も少なくないので、早めからの準備が必要である。留学生向けのガイダンスは多数用意しているので、ぜひ利用してほしい。

■留学経験学生

留学希望者の活動は、留学前から就職活動の準備をしたうえで留学中でのオンライン選考に臨む、海外の就職フェアを利用する、帰国後すぐに就職活動に取り掛かるなど、活動の時期や形は様々になっている。留学経験者は例年、就職先に対する満足度が高い。留学時期に合わせたガイダンスや海外からのオンライン相談にも応じている。活用してほしい。

2025年度 就職活動の現況・見通し

■2026年３月卒（主に新４年次生）

企業の新卒採用意欲は引き続き高いとみられている。本学は例年早めに内定をもらう学生が多い傾向にあるが、留学や公務員・進学からの方向転換など、さまざまな理由で７月以降に進路を決める学生も２割ほどいる。秋採用、通年採用に切り替える企業も増えており、６月以降にキャリアセンターに届く優良な求人も多い。周囲の状況にむやみに焦ることなく、キャリアセンターを活用してほしい。

■2027年３月卒（主に新３年次生）

キャリアセンターでは３月13日に実施した「新３年生のためのキャリアガイダンス」から本格的な支援を開始した。今後も、インターンシップガイダンス、自己分析、エントリーシート対策、筆記試験対策、ＯＢＯＧ交流会、模擬面接など、その時期に応じた各種セミナーを開催する。何に参加していいかわからないという学生は、まず年に複数回開催される「総合ガイダンス」に参加してほしい。その時に必要な情報や最新情報が提供され、活動のペースメーカーとしても役立つと思われる。キャリアセンターの情報は、すべてオンライン上の専用サイト「ＷＥＢキャリアセンター」で告知する。個別相談やガイダンスの申し込みや、本学宛に届いた求人・インターンシップの検索・閲覧もできる。

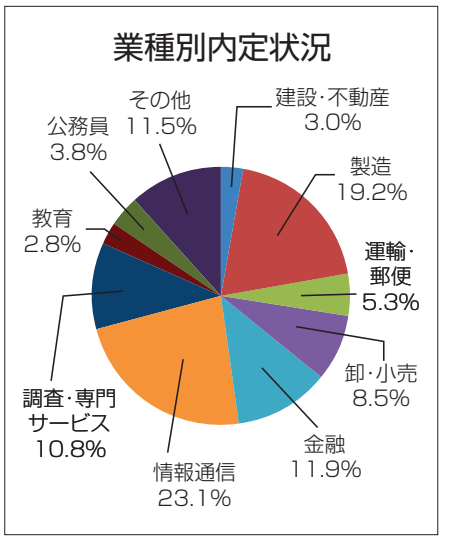
内定者数上位企業一覧（2025年3月1日現在）

順位	企業名	人数
1	株式会社ＮＴＴデータ	24
2	アクセンチュア株式会社	22
	楽天グループ株式会社	22
4	ＡＮＡ（全日本空輸株式会社）	21
5	株式会社ＪＴＢ	17
	株式会社みずほフィナンシャルグループ	17
	株式会社日立製作所	17
8	日本航空株式会社	16
9	株式会社ＮＴＴドコモ	15
	三菱電機株式会社	15
11	日本アイ・ビー・エム株式会社	13
12	本田技研工業株式会社	12
13	ＰｗＣコンサルティング合同会社／ＰｗＣアドバイザリー合同会社	11
	株式会社ニトリ	11
	株式会社ファーストリテイリング	11
	株式会社三菱ＵＦＪ銀行	11
	三菱重工業株式会社	11
	双日株式会社	11
	東京都（公務員）	11
	富士通株式会社	11
21	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社	9
	日産自動車株式会社	9
	日本タタ・コンサルタンシー・サービシズ株式会社	9
24	アビームコンサルティング株式会社	8
	ソフトバンク株式会社	8
	ダイキン工業株式会社	8
	株式会社ベイカレント・コンサルティング	8
	国立大学法人東京大学医学部附属病院	8
	東京海上日動火災保険株式会社	8
30	ＡＮＡエアポートサービス株式会社	7
	ＮＨＫ（日本放送協会）	7
	ＳＣＳＫ株式会社	7
	アマゾンジャパン合同会社	7
	オリックス株式会社	7
	株式会社サイバーエージェント	7
	株式会社レイヤーズ・コンサルティング	7
	株式会社読売新聞東京本社	7
	三井住友海上火災保険株式会社	7
	大和証券グループ	7
40	ＳＭＢＣ日興証券株式会社	6
	キンドリルジャパン株式会社	6
	りそなグループ	6
	レバレジーズ株式会社	6
	横浜市	6
	株式会社ジェーシービー	6
	株式会社フジテレビジョン	6
	株式会社三井住友銀行	6
	株式会社日本政策投資銀行	6
	株式会社野村総合研究所（ＮＲＩ）	6
	三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券株式会社	6
	日本ロレアル株式会社	6
	日本銀行	6
	日本通運株式会社	6
	日本電気株式会社（ＮＥＣ）	6

順位	企業名	人数
55	ＫＤＤＩ株式会社	5
	アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業	5
	サントリーホールディングス株式会社	5
	デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザリー合同会社	5
	みずほリサーチ＆テクノロジーズ株式会社	5
	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社	5
	伊藤忠商事株式会社	5
	外務省	5
	株式会社ＵＳＥＮ－ＮＥＸＴ ＨＯＬＤＩＮＧＳ	5
	株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド	5
	株式会社電通	5
	株式会社博報堂／博報堂ＤＹメディアパートナーズ	5
	国家公務員共済組合連合会　虎の門病院	5
	阪和興業株式会社	5
	三井物産株式会社	5
	東京電力ホールディングス株式会社	5
	日本生命保険相互会社	5
	富士フイルムビジネスイノベーション株式会社	5

業種別内定状況一覧（2025年3月1日現在）

業種	人数
建設・不動産	58
製造	370
運輸・郵便	103
卸・小売	164
金融	230
情報通信	446
調査・専門サービス	209
教育	55
公務員	74
その他	222
総計	1931





１人で抱え込まない

濱元 葵
（経済４）
東京都庁　内定

地方から上京し、東京で大学生活を送る中で、地球規模の課題まで取り組む東京都庁で、キャリアを通して多岐にわたる分野の仕事を経験したいと考え、東京都庁採用試験を受けることを決意しました。

視野を広げるためにも、民間の就活も行なっていましたが、民間と公務員の両立は思った以上に大変で、公務員の授業を受けながら民間のES、面接もこなさなければならないハードスケジュールでした。また、民間の就活を終えた後も、公務員採用試験に向けて早朝から深夜まで家にこもって勉強を続ける毎日で、精神的に追い詰められることもありました。

この経験を通じて最も伝えたいのは、「全てを1人で抱え込まず、時には人に頼ることも大切だ」ということです。先輩にESの添削などを頼むほか、友達と就活の進捗具合を報告しあったり、愚痴を吐きあったりするだけでもいいんです。それだけでも心は軽くなるはずです。

就活は自分の将来を決める大きなイベントなので個人戦というイメージがありますが、困った時は1人で追い込みすぎず、周囲に頼ることを躊躇しないでください！それが自分の最善の未来への手助けになると思います。



素直が一番！

八鳥 理子
（法法４）
トヨタ自動車株式会社　内定

私は３年次の７月まで司法書士を目指して勉強していたので就活には少し出遅れ、焦りを感じていました。

そんな中、２年次にインターンで知り合った他大学の大学院生から自己分析の細かいやり方をアドバイスいただいたことは転機になりました。

ガクチカは「サークル設立」や「資格試験挑戦」を軸に、高校女子サッカー全国大会出場の経験から得た精神力を前面に出して私に興味を持っていただけるように心掛けました。

嘘はつかない、大人の意見に素直に耳を傾ける、常に笑顔、をモットーに就活に取り組みました。

デベロッパー業界への就職を目標として最終的に最大手企業から内々定もいただいたのですが、改めて自分が何を求めているのかを見つめ直し、地元愛知県に戻り学部で学んだことが活かせる企業法務で働けることを選択しました。最後の最後まで非常に悩みましたが各企業の担当者の人柄も最終的な決め手の一つになりました。

就職活動は相手が学生ではなく「大人」が相手になります。普段から大人の人と意思疎通のとれたコミュニケーションを心掛けると良いと思います。